

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	介護施設等整備事業費補助金		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/共に見守り支え合い、包括的支援によるまちづくり	担当課	地域包括ケア推進課
施策①	釜石版地域包括ケアシステムの充実	電話番号	22-0178
施策②	地域包括ケア連携の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	平成28年度～令和10年度		
事業の概要			
今後、増加が予測される認知症高齢者を含めた要介護者等について、住み慣れた地域での生活を支えていくために民間活力を導入し、民間事業者が行う地域密着型サービス施設等の整備に係る経費の一部に対し、補助金を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>当市の高齢化率は令和7年7月末現在41.1%、当市の人口減少に比例し、高齢者人口も減少してきているが、独居高齢者数は4,291人、高齢者のみの世帯は6,473となっている。</p> <p>また、要介護認定者に対する認知症高齢者の割合は年々増加しており、介護が必要となっても、住み慣れた地域で、尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けられる共生社会の実現が求められている。</p>	
目的	
<p>高齢者の方が、介護が必要になった場合でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることで高齢者の住まい方の充実が図られる。</p> <p>また、家族介護者の負担軽減・家族介護者への支援の推進が図られる。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業を実施する民間事業者を公募し、選定委員会において事業者を選定し、その後、市地域密着型サービス運営委員会に諮り、事業者を決定する。</li> <li>その後、補助金による事業者支援を行う。</li> <li>現在ある施設等を活用し、利用者のニーズに沿ったサービス内容の施設に転換し、サービス内容の充実を図る。</li> </ul>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
0千円	0千円	8226千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
市と民間が連携し、地域包括ケアの推進を図るうえで重要な事業である。第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画等に基づき、今後も本市に必要な介護サービス水準の維持・向上に努められたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	重層的支援体制整備事業（政策分）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/共に見守り支え合い、包括的支援によるまちづくり	担当課	総合福祉課
施策①	支え合う地域共生社会の実現	電話番号	
施策②	総合的な相談支援体制の構築・強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和10年度		
事業の概要			
属性・世代を問わない相談・地域づくりの体制整備を既存事業と一体的に実施することにより、地域生活課題を抱える地域住民及びその世帯に対する支援体制並びに地域住民等による地域福祉の推進のために必要な環境を一体的かつ重層的に整備するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題			
8050世帯、介護と育児のダブルケア、孤立した世帯など、地域住民が抱える課題は複雑化・複合化している。障がい者、高齢者、子ども、生活困窮者といった属性別の支援体制では、複合課題や制度の狭間のニーズへの対応が困難である。また、生活困窮などを理由にサービス利用を控える隠れ要支援者やひきこもりの把握が現状では難しい状況にある。			
目的			
「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に取り組むことで、相互作用により支援の効果を高め、地域共生社会の実現に資する。			

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
基幹相談支援センターの運営、応援センターを活用し、生活困窮者等への支援につながる勉強会等を開催、対象住民に関する社会資源へのマッチング、定着支援、支援関係機関や地域住民等の関係者（民生委員など）からの情報収集活動、対象者の実態・ニーズ把握調査活動、関係性構築に向けた継続的な訪問活動、関係機関の連携構築、重層的支援会議の開催運営、支援プランの作成、既存の社会資源に対応できない要支援者のための集いの場創造と社会とのつながりに向けた取り組み			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
45778 千円	45778 千円	45778 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
引き続き、持続可能な体制の構築に向けて関係者と密に協議を行い、国の補助金等を活用しながら、当市の規模や実情に即した適切な体制整備を図りたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	福祉の森施設撤去事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/共に見守り支え合い、包括的支援によるまちづくり	担当課	総合福祉課
施策①	支え合う地域共生社会の実現	電話番号	
施策②	地域における拠点づくり	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和10年度～度		
事業の概要			
福祉の森の老朽化した電灯・トイレ・東屋を撤去するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
福祉の森は、市民の「憩いの場」として、幼稚園児や小中学生の遠足をはじめ、成人や高齢者のレクリエーション活動等、幅広く市民に利用されてきたが、人口の減少や市民ニーズの変化に伴い、近年では利用者が大幅に減少し、維持管理に支障をきたしている。定期的な団体利用もなく、利用者として確認されている人数は年間20～50人程度で推移している。施設内の電灯・トイレ・東屋は老朽化し、放置すると事故や犯罪の温床となるリスクがある。	
目的	
過剰な施設設備を撤去することで維持管理費を削減し、併せて近隣住民の住環境を改善する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
構造物（電灯・トイレ・東屋）の撤去			
・電灯	1基		
・トイレ	1棟	コンクリートブロック造	9㎡
・東屋	1棟	トタン屋根	49.3㎡
事業費			
	R 8	R 9	R 10
	0千円	0千円	4628千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
市の財政状況を踏まえ、優先順位を付けたうえで解体を進められたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	医療費給付事業（重度・身障3級）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/共に見守り支え合い、包括的支援によるまちづくり	担当課	市民課
施策①	支え合う地域共生社会の実現	電話番号	0193-27-8491
施策②	障がい福祉の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
<p>重度心身障がい者、身体障がい者（3級）及び精神障がい者保健福祉手帳（1級）の健康の保持と経済的負担の軽減を図ることを目的に、保険診療の医療費一部負担金を助成し、医療を受けやすい環境を提供するもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	障がい者は、健常者と比較し医療受診頻度も高く、病院医療費等の一部負担金支払いが経済的な負担となっている。
目的	医療費の一部を給付し、適正な医療受診と心身の健康の保持を図り、生活の安定や福祉の増進を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
医療機関で支払った医療費（一部負担金）から診療報酬支払明細ごとに対象者の自己負担額を差し引いた額を給付する。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
80861 千円	80861 千円	80861 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
<p>他の事業等と併せて、市の施策として広く PR されたい。また、こども医療費の補助については、他市町村においても広く実施されていることから、県に対し一律での負担を求める要望を継続されたい。</p>			